

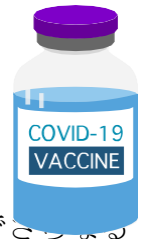


COVID-19 ワクチン : Pfizer と Moderna

初回接種の 2 回目を受ける時期

2 回目接種はいつ受けるべきですか？

2 回目を受ける最適な時期は個人の状況によって異なります。

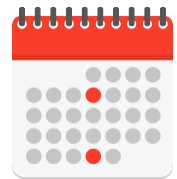


65 歳未満で免疫力の低下が見られない方：

- 特に 12～39 歳の男性の場合、1 回目接種の 8 週間後に 2 回目接種を受けることでさらなる効果が期待できる場合があります。これは、1 回目と 2 回目の接種間隔を長く取ることで、ワクチンの予防効果が高まり、発症がすでに稀とされる心筋炎(心筋の炎症)のリスクがより低くなるためです。若い男性(12～39 歳)は心筋炎のリスクが最も高いとされています。
- 感染から早く自分の身を守る必要がある場合は、2 回目接種を早めに受けましょう。Pfizer の 1 回目接種の少なくとも 3 週間後、そして Moderna の 1 回目接種の少なくとも 4 週間後が推奨されます。これには、あなたのお住まいの地域や職場、旅行先での感染が広がっている場合や、あなた自身の重症化リスクが高い場合が含まれます。
- ご自分に合う一番良いタイミングがわからない場合は、医師に相談してください。

中等度または重度の免疫不全の方や 65 歳以上の方：

- 初回接種の 2 回目接種は、Pfizer の 1 回目接種の少なくとも 3 週間後、そして Moderna の 1 回目接種の少なくとも 4 週間後に、できるだけ早めに受ける必要があります。
- また、免疫不全の方は、初回接種の 2 回目接種から少なくとも 4 週間後に 3 回目の接種を受ける必要があります。



2 回目接種をまだ受けていない場合は、できるだけ早めに受けましょう。中断したところからワクチン接種を再開することができます。1 から接種をやり直さなければいけないということはありません。

詳細はこちらのウェブページをご覧ください ph.lacounty.gov/covidvaccineschedules.